



2014～15年度テーマ

# 中村ロータリークラブ

例会記録 (2014～2015)

会 長/一 藤 勝 之  
幹 事/白 木 久 雄  
会報委員長/山 川 博 之

創 立/昭和38年10月2日  
例会日/水曜日 12:30～13:30  
例会場/新 ロ イ ヤ ル ホ テ ル 四 万 十  
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F  
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553  
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2375

第2506回 平成26年10月22日 (小雨)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 石井英治様

10月29日(水)のプログラム：職場訪問 土佐清水元気プロジェクト

11月5日(水)のプログラム：ゲストスピーチ

## 【会長報告・挨拶】 一藤会長

- ・四万十川ウルトラマラソンボランティア参加の皆様ご苦勞様でした。・ロータリー日本財団よりマルチプル・ポール ハリスフェロー受賞の杉本会員へ襟ピン拝受
- ・17～19日、松山市の坊っちゃんスタジアムでの野球大会ガバナー杯に行ってきました。18日、高松北に13-1。次は松山Bに6-5のサヨナラ勝ちでベスト4に残りました。19日、高知中央に1点差で負けました。3位決定戦はピッチャー2人が故障したため、棄権しました。
- ・今日は「パラシュートの日」。1797年10月22日、フランスのパリ公園でガルヌランが高度約2400mから直径7mの布製の傘のようなものを使って飛び降りた。これが世界初のパラシュートによる人間の降下ということです。

## 【幹事報告】 白木幹事

- ・ガバナー事務所より  
雑誌委員会開催のご案内  
11/24 13:30～16:30 国際ホテル松山
- ・米山奨学生卓話例会 11/20 (木) 宿毛RC

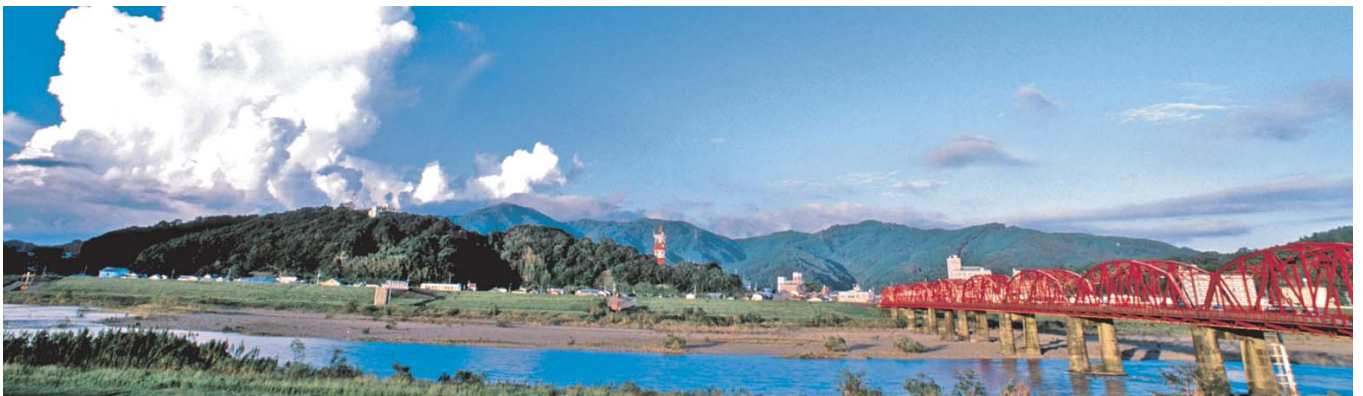
- ・ロータリー財団事務所より地区管理セミナー  
開催案内 11/30 13:00～ 松山市にて
- ・宿毛RCより50周年記念式典出席のお礼状
- ・四万十市観光振興連絡会議より 入田ヤナギ  
林一斉清掃参加のお願い 11/7 13:30～

## 【委員会報告】 中越雑誌委員長

お手元に「ロータリーの友」への投稿原稿を配布しています。門田会員の原案を細川会員に編集して頂きました。

井上会員 (「四万十川ウルトラマラソン」実行委員会競技部長)

「四万十川ウルトラマラソン」でリタイヤランナーに配るタオルを例年、中村ロータリークラブが500枚寄贈してきましたが、今回は参加者が200人増員されたので、50枚増やしました。大会では2198人がスタートしてリタイヤが483人。従来の500枚ならカツカツだったので、ちょうど良かったようです。  
ご協力ありがとうございました。



## 【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 石井英治様（専門的職業スピーチ）



## 「二人に一人はガンになる。消化器ガンの話」

皆さんこんにちは。今日は「2人に1人はがんになる。消化器がんの話」をします。いかにしてがんにならないようにするかという話です。私は医者になってから13年。千葉県の「亀田総合病院」で研修して、先日まで働いてました。そのうち1年間は、国内留学の形で長野県の「佐久総合病院」で内視鏡手術や地域医療の勉強をしました。

これは実際に治療した直腸がんの症例ですが、35分くらいで4センチほどのがんを内視鏡で取り除き、治療が終わりました。この方は非常にラッキー。この後人工肛門を付けることもなく、全くそれまでと変わらない生活が送れる。早く見付けることがそれだけ大事です。消化器がんは早く見付ければ取り除けるので治ります。

そのための検診ですが、特に市町村などによる対策型検診で重視される胃のバリウム検査と大腸がんのための便潜血検査はできればやめてもらいたい。消化器がんの専門家がやるのは、胃なら胃カメラとピロリ菌検査。大腸でもカメラを入れる検査です。便潜血検査はがんの発見率が高いデータはあるが、死亡率の減少効果は高く見積もっても33%しかない。なぜなら、見付けることは見付けるが、それは進行がん。本当に自分の身を守ろうとしたら、対策型検診では不十分です。任意検診をお勧めします。

大腸がんの場合は最初にポリープができる。それが5ミリから1センチくらいになってくる

と、途中で一部ががん化します。そしてがんが大きくなってポリープの部分が小さくなる。そのうちがんだけになり、大きな潰瘍のようになってよそに転移を始める。こんな手遅れになるまでにはものすごく時間がかかる。短くて2、3年、長い人で10年ほどです。だからポリープさえ取ってしまえばがんにならない。中にもものすごく進行が速いものもありますが、それは大腸がんの中で2～5%といわれています。だから、大腸のカメラによる検査を受けていれば、ほぼ大丈夫。中村クリニックでなら、痛くなくできます。「できる大人の内視鏡検診」。よろしくお願いします。

胃がんの場合、ほとんどは慢性萎縮性胃炎の人がなります。胃カメラをのめば、胃がんがでやすいかどうかはすぐに分かります。慢性胃炎の原因といわれているのがヘリコバクターピロリ菌。薬で除去できます。ただ、ピロリ菌には赤ちゃんの頃に感染していることが多く、保菌している間に胃がんになりやすい状態になっている。毎年、胃カメラで検査をして、もしがんができていれば早く治療してほしい。このように大腸がんと胃がんの死亡率は抑えられる。

私は四万十市民の大腸がんや胃がん死亡率0を目指しています。

ありがとうございました。



## 【ニコニコ箱】

一藤会長：ガバナー杯、お疲れさまでした。

井上会員：ウルトラマラソンお疲れ様でした。私の妻も60Kmに参加、残り10Km地点でリタイア。タオルは、「暑かったけん足らんなったらいかんけんもらわなかった」との事。ちよっぴりロータリアンの妻らしくなりました。

梅原会員：ノーベル賞のお陰で母校の名城大学が全国区になりました。

松倉会員：ガバナー杯で優秀賞をいただきました。ありがとうございました。

【出席報告】 ・会員総数50名（免除会員1名）

・本日の出席/33人 80.48% 先週の訂正 MU8 78.57%→100%